

港区立白金の丘中学校
令和5年度 授業改善推進プラン

国語	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着 ・思考力・判断力・表現力の育成 (話す聞く能力・書く能力・読む能力) ・主体的に学びに向かう姿勢の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書き、歴史的仮名遣いについてまだ知識が定着しきれていないところがある。 ・複数の文章を関連付けて考え言語化する力が不十分である。また、書かれた文章を観点別に見た時、条件に応じて具体的に書く点において課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業での漢字学習や小テスト等、反復学習を行うことで知識の定着を図る。 ・プリントや ICT 教材の活用、および発表や作文による表現活動を行うことで、生徒の思考力・判断力・表現力を伸長する。 ・上記2点の学習のプロセスを大切にするため、定期的にふり返り等を行い、生徒の主体性を観察、改善点等を指導する。

社会	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着 ・思考力・判断力・表現力の育成 ・主体的に学びに向かう姿勢の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識は、一定期間は定着するが、時間が経過すると薄れてしまう。 ・学んだ内容を結び付けて考えたり、表現する力がやや弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用した教材教具や授業プリントの工夫、様々な小テストの実施により知識の定着を図る。 ・発問や振り返りを工夫し、地理・歴史・公民の三分野の関連性を大切にした授業展開を行う。

数学	育成を目指す資質・能力	全国学力・学力状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力の育成 ・関数に関する理解と活用能力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力調査の結果では、領域、観点、問題形式ともに特定の区分ではなく、全体的に正答率が低い傾向にあった。 ・定期考査や授業の様子を見ると、「記述式」の問題について、「思考力・判断力・表現力」を働かせて取り組む力が弱い。 ・「関数」に対して苦手意識をもつ生徒が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反転学習やスパイラル学習を通して、基礎基本の確実な定着を図る。 ・ICTを活用しながら、課題解決学習や教え合い活動を授業の中で積極的に取り入れ、生徒が自ら考える時間を十分に確保する。 ・全学年で習熟度別少人数授業を実施し、個に応じた指導を行うとともに、習熟度に応じた指導の工夫をする。特に各学年で関数の指導をする際、導入を工夫し、苦手意識の払拭を図る。

理科	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着、理科実験に必要な技術の習得 ・見通しを持って実験を行うための思考力・判断力の育成 ・得られた結果を他者に伝える表現力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・分野ごとの得意不得意によって正答率にばらつきがある。 ・実験を行う目的を自ら見出すことを苦手としている。 ・レポートへの記述や発表することなど外への発信を苦手としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像や実演を用いて興味や関心を高めることで、得意不得意の差を減らす。 ・様々な組み合わせで実験を行うことで、積極的に参加する体制にする。 ・実験の前に仮説を立てるための時間を確保し、教え合いから外へ発信する表現力を育む。

音楽	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動を通して、知識や技能を得ながら創意工夫する力。 ・「思考力」「表現力」の関係性を大事にした音楽の力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動では、一人一人が「自分の思いをどう伝えていくか」等、表現力が弱い。 ・鑑賞分野(リスニング)では、知識をもとに音と関連させ考えていく力がやや弱い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱活動では、歌詞の意味、その曲が作られた背景を理解し、グループで話し合う場を設定していく。 ・鑑賞活動では、導入の授業において、聴くポイントを明確にし楽曲の興味につなげる。さらにまとめの授業ではその曲の良さを紹介文を書くことで作曲者の思いをふかめることにつなげていく。

美術	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力・判断力・表現力の育成。 ・鑑賞教育によりさらに深い学びへとつなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動では、「課題に基づいた表現」が求められるが、課題に基づかない表現をしている。 ・鑑賞においては、学びが浅い生徒がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現活動においては、美術運動等の歴史などにさらに深くふれ、課題の理解を個別に行う。 ・鑑賞活動においては、グループ等で意見を出し合い深い学びにつなげていく。

保健体育	育成を目指す資質・能力	新体力テスト、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・身体活動を通して、ルールの順守や仲間との協力、基本的な運動習慣を身に付けるとともに自主自立の意識を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全国平均に比べるとどの項目も低く課題であると言えるが、東京都の平均と比較すると本校の記録が上回っている種目も見取れる。数字的にもまだ低迷している項目を今後の課題としていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種目において毎回ミニゲームを行い楽しみながら基本的な運動習慣を確立していく。相互に評価をし、助言をしたり、一緒に課題を考えたりすることで、仲間と協力して様々な課題を解決していく能力を養う。 ・リーダー育成とフォロワーの育成を保健体育の身体活動の中で養っていく。

技術・家庭	育成を目指す資質・能力	学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成する	・見本(完成図)を見たがる生徒が多く、自分で考え、デザインを決めるといことが苦手。	<ul style="list-style-type: none"> ・生活と技術についての基本的な理解を図るとともに、それらに係る技術を身に付けるようにする。 ・生活や社会の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

外国語(英語・国際)	育成を目指す資質・能力	全国学力・学習状況調査、学習評価及び定期考査等の結果に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・語彙力 ・自身の意見を論理立てて説明する表現力 ・読んだり聞いたりした内容を文章化する作文力 ・即興で会話をする能力 	<ul style="list-style-type: none"> ・区・全国学力調査結果では全項目において平均を上回った。特に「話すこと」調査の結果は全国平均を倍以上上回った。また、都学力調査においては「授業内容がよく分かる。」と回答した生徒が全学年において平均を上回った。特に、中学三年生は「授業内容がよく分かる。」と回答した生徒が5割を超え、全国の3割を大幅に上回った。 ・ペアワークに積極的に取り組み、リスニング力および発表時の表現力が高いが、読み書きに課題がある。また、即興の英会話において適した文法や語彙を選ぶことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT を活用して、単語および基本文の反復練習を行う。 ・フォニックスを活用した語彙指導に取り組む。 ・クイズ・ゲーム形式の言語活動を取り入れる。 ・ペアワークによる音読、文章読解、Q&A 活動、スキット発表などを行う。 ・NT とのインタビュー活動など、NT をより効果的に活用する。 ・少人数・習熟度別授業の効果を上げるためのクラス編成を考える。 ・語彙力向上、作文力向上のためのノート指導、自由作文に取り組む。

道徳	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・善悪を判断する能力 ・道徳的判断力によって自身を律する力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面の想像が難しいもの、イメージしづらい教材について、いかに理解を進めていくかが課題である。 ・意見がなかなか言えない生徒の意見の共有。 	<ul style="list-style-type: none"> ・模範的、道徳的行動指標を多く示す。 ・実際に自分ならどうするかを考える機会を多くとる。 ・自分の考えを他人とシェアしたり、話し合ったりする授業を行う。

特別活動	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	・自分たちで考え行動し、さらによいものにできるよう話し合い実行できる力	・見通しをもって計画を立てることが少なく、想定外なことなどもあり、うまくいかないことが多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって計画を立てられるように、関係する材料の収集や提示をスムーズに行うようにする。 ・実行したことを調整・改善し、今後よりよいものにするために検討する機会をつくり指導する。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	学習評価等に基づく課題	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsの担い手として必要な能力の育成。 ・主体的に取り組む姿勢の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組んでいるが、「自分ができること」を日々行動に移すという点ではやや弱い部分がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3 か年を見通した各学年のテーマを設置し、継続的・発展的な学習を行う。 ・明治学院大学と連携した STEAM 教育を行い、自分たちができることは何かを主体的に考えるとともに、実践につなげる。